

# 沖縄だけの問題ではない

## 自ら考え、自ら行動を



嘉手納基地周回行動

「2017 沖縄ピースすて〜じ」結団式で現地実行委員会・砂川委員長は、「サンフランシスコ講和条約から65年、沖縄祖国復帰から45年、そして『沖縄ピースすて〜じ』も25回目の節目となる。しかしながら、私たちがこれまで強く求めてきた『米軍基地の整理縮

6月23日(金)〜25日(日)、全国の情報労連組合員約260人が結集し、情報労連平和四行動「2017 沖縄ピースすて〜じ」が開催された。

小『日米地位協定の抜本的見直し』は、一向に進んでいない。参加者は、沖縄の現状、真実を体感し、『創り育てる平和』を職場や家庭に広げてもらいたい」とあいさつした。

2日目以降、沖縄戦跡巡り——等の行程で

の实相や在日米軍基地の実態などに触れるため、嘉手納基地周回行動、辺野古新基地予定地の現地視察、「糸数豪」「ひめゆり平和祈念資料館」「平和祈念資料館」などの戦跡巡り——等の行程で行なわれた。



平和祈念公園での黙とう

特に、嘉手納基地周回行動は、日本国土の0.6%にすぎない沖縄県に、在日米軍施設の約70%が集中する状況を、「早期基地返還

行なわれた。職場で伝えていきたいなど、恒久平和の実現に向け、自ら行動していくとの感想が多く寄せられた。

などのシユプレヒコールを行ないつつ、自らの足で約10kmを歩き、基地の広さを実感した。

参加者からは、「平和のために自分は何ができるのか考えていきたい」、「学んだことを家庭や職場で伝えていきたい」など、恒久平和の実現に向け、自ら行動して

### 旬感

#### 真実を見極めること

共謀罪をめぐる議論の本質は、テロ防止のために警察が監視対象とした人のメールや電話を見聞きしているか?という単純な話なのに、反発を恐れた政権はウソを重ねた、とジャーナリストの津田大介氏は語る。

ネットでも共謀罪をめぐる議論が盛んに交わされたが、反対が相次ぐ一方、「野党は審議拒否をするな」と反対する側への批判も目立った。政権がまともに答えなかつただけではないのか。

過去三度も廃案になった共謀罪が、テロ等準備罪と名前を変えて成立した。安



副委員長(長崎エリア) 上田 洋一

保法制も平和安全法制と呼ぶことでごまかす。「決して正面から議論せず、迂回ルートで突破しようとするのが今の政権。国民はなめられている」と津田氏は指摘する。

一部マスコミは共謀罪を厳しく批判したが、マスコミが否定した事実ほど、信用する傾向にある人が3割ほどいるらしい。

真実を見極めるには学びが欠かせない。私たちには過去に学ぶ・今起きていることに学ぶ機会がたくさんある。「無視と無知と無関心」だけはやめようと自戒する。

沖繩が置かれていて、現状を自らの問題としてとらえ全国の仲間が発信するべく、各種行動を積極的に展開し、8月実施予定の広島・長崎の平和行動の取り組みにつなげていくこととする。

総支部は、引き続き、在沖米軍基地問題など、沖繩が置かれていて、現状を自らの問題としてとらえ全国の仲間が発信するべく、各種行動を積極的に展開し、8月実施予定の広島・長崎の平和行動の取り組みにつなげていくこととする。



発行所  
NTT労働組合  
九州総支部

〒812-0013 福岡市  
博多区博多駅東3-2-28

TEL 092-714-8296  
FAX 092-461-2242

発行責任者  
田畑忠治  
編集責任者  
久保里美

はっちゃんねる

末永いおききを願う

(久保 里美)



## 参加者の声

### 沖縄ピースすてーじ

#### 沖縄での貴重な学び



今回「沖縄ピースすてーじ」に参加し、印象的だった1つは「基地問題」です。嘉手納基地周辺を自らの足で10キロ歩き、米軍基地がいかに広大であるかを実感し、普天間飛行場が世界一危険と呼ばれる理由が理解できました。

2つ目は「戦争の悲惨さ」です。地上戦の際に使われていた系数アプチラガマに入り、また、平和記念公園やひめゆりの塔の資料館を訪問し、当時の沖縄の方々の気持ちを思うと胸が苦しくなりました。社会人になりあらためて日本・沖縄の歴史を学ぶと、新たな気づきがたくさんありました。この貴重な学びを少しでも多くの人に伝えていきたいです。

(北九州分会 松木 彩香)

#### 沖縄の実態を知る



沖縄戦の実態を今回の平和行動で知ることができました。

日本軍が本土を守ろうと沖縄戦を長期化させ、沖縄市民を戦争に巻き込み、結果4人に1人が戦死するという話を聞き、愕然としました。

戦後も米軍基地が集中し、アメリカ兵の婦女暴行やヘリコプター墜落等、沖縄市民は苦しめられていると感じます。政府は沖縄を同じ日本であると認識しているか疑問です。安保条約とはいったい何なのでしょう。これ以上沖縄県民を苦しめないでほしいと思います。辺野古新基地建設は絶対に阻止しなければなりません。これらの学びは今回平和行動に参加できたからこそです。

家族や職場、友人へも伝えていかなければならないと感じました。

(九州病院分会 村上 優子)

#### 米軍基地の巨大さを体感



初めて「沖縄ピースすてーじ」に参加し、沖縄の抱えている過去と現実を疑似体験し、五感で知ることができました。

事前に報道や書籍で知っていると思っていましたが、沖縄戦の戦跡を訪れることで、戦争がもたらした多くの犠牲の上に今の平和な日本があるということを知り、認識を新たにしました。嘉手納基地周回行動では、沖縄が負担している米軍基地の巨大さを体感し、この問題に関心を高め、行動を起こさなければならぬと思いました。

今回知ったことを家族や職場に伝え、今後のさまざまな平和行動につなげていきたいと思っています。

(ネオメイト九州分会 萬家 翔平)

#### 子どもたちの未来のために



今回の平和行動を体験するまでは、どこか他人事でしたが、3日間を通して、戦争は絶対にしてはいけない、絶対に忘れてはいけないと強く思いました。

周回行動で、基地の広大さを目の当たりにし、居住区の上空を常に米軍機が飛んでいることの恐怖を肌で感じ、平和学習で、ガマで米軍の攻撃に怯えながら日本兵が監視している横で泣いている子どもの口をふさぐ親の様子を記した資料や、戦争によって無残に命を奪われた子どもの写真を見た時には、胸が張り裂ける思いでした。

私は、二児の父親です。子どもたちの未来のためにも、今回、学び五感で感じた沖縄の現実を家族や職場、1人でも多くの人たちに伝え、恒久平和のために行動していきます。

(大分分会 安藤 翔吾)

## キラ星★九州 おやしバンド

5年前、当時のメンバーの1人が病気のため急逝し、その1周年に追悼ライブをやるとういう話が持ち上がったことをきっかけに、高校生時代にライブ活動していたバンドを再結成した。構成はギター、ベース、ドラム。ギターは、おそらく皆さんもご存じのロックバンドの元メンバー。その他は素人ながら、それぞれ楽器には触っていたらしく、音合わせには、さほどの苦勞はなかった。ライブは、同級生、知り合い等が集まり、大盛況のうちに終了した。

さて、一段落した半年後、他のバンド仲間からライ



ブのお誘いがあり、以後、月1で練習している。練習の成果もあり、たまのライブステージで弾けるおじさん達なのだ。

(長崎分会 中村 正紀)

## 未来遺産

### 鶴丸城跡

鶴が翼を広げた形をしていることから、鹿児島城は鶴丸城と呼ばれています。城といっても、本丸、二の丸、下屋敷が並び、天守閣等のない屋形づくりでした。これは「城をもって守りと成さず、人をもって城と成す」という薩摩藩流の思想によるもので、藩内の各所には兵農一致の郷土団が守る外城(とじょう)がめぐらされていました。石壁には、西南戦争での鉄砲跡が今でも残っています。

(鹿児島分会 福原 由和)



NTT労組は応援しています

## 清水マオ

那覇市議会議員選挙

7月9日投開票

